



2022年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年10月27日

上場会社名 北陸電気工事株式会社
 コード番号 1930 URL <https://www.rikudenko.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢野 茂
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 山本 英樹
 四半期報告書提出予定日 2021年10月27日 配当支払開始予定日 2021年11月30日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 076-481-6093

2021年11月30日

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	20,636	3.8	914	38.9	999	39.8	644	43.5
2021年3月期第2四半期	21,444	2.7	1,495	1.5	1,659	7.0	1,142	15.9

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 623百万円 (49.9%) 2021年3月期第2四半期 1,244百万円 (25.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	27.65	
2021年3月期第2四半期	48.98	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	50,658	38,455	75.9
2021年3月期	53,698	38,448	71.6

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 38,455百万円 2021年3月期 38,448百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		30.00	30.00
2022年3月期		10.00			
2022年3月期(予想)				20.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

詳細は、本日公表の「2022年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異並びに剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,000	13.6	4,200	9.0	4,350	6.7	3,000	5.5	128.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期2Q	24,969,993 株	2021年3月期	24,969,993 株
期末自己株式数	2022年3月期2Q	1,643,231 株	2021年3月期	1,643,180 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期2Q	23,326,796 株	2021年3月期2Q	23,326,900 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 個別業績予想

2022年3月期の個別業績予想 (2021年4月1日 ~ 2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,900	13.8	4,150	9.4	4,300	7.0	2,950	△ 6.0	126.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・参考として開示した個別業績予想は、法定開示におけるレビュー対象ではありません。
- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する情報	2
(2) 連結財政状態に関する情報	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(会計方針の変更)	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
3. 個別業績等に関する事項	7
(1) 2022年3月期第2四半期の個別業績	7
①個別経営成績(累計)	7
②個別財政状態	7
(2) 補足情報	8
①受注工事高	8
②売上高	8
③繰越工事高	8
④得意先別受注工事高・完成工事高	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による企業収益の急速な減少や雇用の縮小など、依然として厳しい状況が続きました。

建設業界におきましては、公共投資は関連予算の執行により、底堅く推移していくことが見込まれ、民間設備投資も持ち直しつつあります。しかしながら、当社を取り巻く事業環境は、コロナ禍によるお客様の設備投資マインドの落ち込み、営業活動の制限及び建設資材の納期遅延や価格高騰などから、依然として先行き不透明な状況が続くなど、経営環境は厳しい状況で推移しました。

このような状況のもとで、当社グループは全社を挙げて営業活動を積極的に展開し、収益拡大に努めたものの、大型工事の進捗が伸び悩んだことなどから、売上高につきましては、206億36百万円（前年同期比3.8%減）となりました。

また、利益面につきましては、工程管理・原価管理を徹底したほか、全般にわたる継続的なコスト削減に努めたものの、売上高の減少及び建設資材の価格高騰などにより、営業利益は9億14百万円（前年同期比38.9%減）、経常利益は9億99百万円（前年同期比39.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億44百万円（前年同期比43.5%減）となりました。

なお、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等の適用により、当第2四半期連結累計期間の売上高は15億99百万円増加し、営業利益及び経常利益はそれぞれ1億89百万円増加しております。

(2) 連結財政状態に関する情報

（資産、負債、純資産の状況）

当第2四半期連結会計期間末における総資産額は、506億58百万円となり、前連結会計年度末と比べ30億40百万円の減少となりました。これは現金預金の減少（31億14百万円）、有価証券の増加（6億円）及び未成工事支出金の減少（8億95百万円）などによるものです。

負債総額は、122億2百万円となり、前連結会計年度末と比べ30億48百万円の減少となりました。これは工事未払金の減少（11億97百万円）及び未払法人税等の減少（4億41百万円）などによるものです。

純資産総額は、384億55百万円となり、前連結会計年度末と比べ7百万円の増加となりました。これは利益剰余金の増加（29百万円）などによるものです。なお、収益認識会計基準等の適用により、利益剰余金の期首残高が84百万円増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2021年7月28日に公表いたしました業績予想のままとさせていただきます。

なお、今後の新型コロナウイルス感染症などの影響によって修正が必要となった場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	24,250	21,136
受取手形・完成工事未収入金等	12,438	12,490
有価証券	10	610
未成工事支出金	1,405	509
材料貯蔵品	311	323
その他	142	211
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	38,559	35,282
固定資産		
有形固定資産	11,900	12,217
無形固定資産	77	85
投資その他の資産		
その他	3,167	3,078
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	3,161	3,072
固定資産合計	15,139	15,376
資産合計	53,698	50,658
負債の部		
流動負債		
工事未払金	7,247	6,049
未払法人税等	820	379
工事損失引当金	54	27
その他	3,001	1,609
流動負債合計	11,123	8,066
固定負債		
役員退職慰労引当金	71	56
退職給付に係る負債	3,393	3,434
資産除去債務	126	126
その他	535	518
固定負債合計	4,126	4,136
負債合計	15,250	12,202
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,328	3,328
資本剰余金	2,803	2,803
利益剰余金	32,936	32,965
自己株式	△705	△706
株主資本合計	38,363	38,392
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	243	204
退職給付に係る調整累計額	△158	△140
その他の包括利益累計額合計	85	63
純資産合計	38,448	38,455
負債純資産合計	53,698	50,658

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
売上高	21,444	20,636
売上原価	17,957	17,702
売上総利益	3,487	2,933
販売費及び一般管理費	1,991	2,018
営業利益	1,495	914
営業外収益		
受取手数料	34	35
その他	133	51
営業外収益合計	168	86
営業外費用		
支払利息	0	0
その他	3	1
営業外費用合計	4	1
経常利益	1,659	999
特別利益		
固定資産売却益	3	1
特別利益合計	3	1
特別損失		
投資有価証券評価損	—	8
減損損失	—	23
その他	5	0
特別損失合計	5	32
税金等調整前四半期純利益	1,658	969
法人税、住民税及び事業税	385	312
法人税等調整額	130	12
法人税等合計	515	324
四半期純利益	1,142	644
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,142	644

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	1,142	644
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	102	△39
退職給付に係る調整額	—	17
その他の包括利益合計	102	△21
四半期包括利益	1,244	623
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,244	623

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これにより、従来は工事完成基準を適用していた工事請負契約のうち、一定の期間にわたり履行義務が充足される契約については、履行義務の充足に係る進捗度を見積り、当該進捗度に基づき収益を一定の期間にわたり認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は15億99百万円増加し、売上原価は14億9百万円増加し、売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1億89百万円増加しております。また、利益剰余金の当期首残高は84百万円増加しております。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。これにより、従来、時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品とされていた社債その他の債券については取得原価をもって四半期連結貸借対照表価額としておりましたが、観察可能なインプットを入手できない場合であっても、入手できる最良の情報に基づく観察できないインプットを用いて算定した時価をもって四半期連結貸借対照表価額としております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. 個別業績等に関する事項

(1) 2022年3月期第2四半期の個別業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

①個別経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	20,568	△ 3.8	896	△ 38.6	982	△ 39.5	642	△ 42.7
2021年3月期第2四半期	21,372	△ 2.8	1,459	3.0	1,623	8.2	1,120	17.3

	1株当たり	潜在株式調整後
	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	27.54	—
2021年3月期第2四半期	48.03	—

②個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	50,377	38,394	76.2
2021年3月期	53,411	38,406	71.9

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 38,394 百万円 2021年3月期 38,406 百万円

(2) 補足情報

①受注工事高

	前第2四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	率 (%)
内線・空調管工事	14,472	62.7	13,941	60.5	△ 531	△ 3.7
配電線工事	5,720	24.8	5,763	25.0	43	0.8
その他工事	2,878	12.5	3,335	14.5	456	15.9
計	23,072	100.0	23,041	100.0	△ 30	△ 0.1

②売上高

	前第2四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	率 (%)
内線・空調管工事	12,161	56.9	11,756	57.2	△ 405	△ 3.3
配電線工事	5,209	24.4	4,905	23.8	△ 303	△ 5.8
その他工事	3,572	16.7	3,286	16.0	△ 286	△ 8.0
計	20,943	98.0	19,947	97.0	△ 995	△ 4.8
兼業事業	428	2.0	621	3.0	192	44.9
合計	21,372	100.0	20,568	100.0	△ 803	△ 3.8

③繰越工事高

	前第2四半期会計期間末 (2020年9月30日)		当第2四半期会計期間末 (2021年9月30日)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	率 (%)
内線・空調管工事	24,097	69.6	22,787	70.6	△ 1,309	△ 5.4
配電線工事	3,901	11.3	3,918	12.1	16	0.4
その他工事	6,611	19.1	5,602	17.3	△ 1,009	△ 15.3
計	34,610	100.0	32,308	100.0	△ 2,302	△ 6.7

④得意先別受注工事高・完成工事高

当第2四半期累計期間(自2021年4月1日 至2021年9月30日)

	受注工事高		完成工事高	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
北陸電力㈱	333	1.4	180	0.9
北陸電力送配電㈱	7,667	33.3	6,636	33.3
一般得意先	15,039	65.3	13,130	65.8
計	23,041	100.0	19,947	100.0